

鳴神山山行報告

【山行日】2015年 3月 29(日) 晴れのち曇

【集 合】 岩舟支所P AM 8:00

【費 用】 マイカー1台 : 900円

【メンバー】 CL:鈴木、大西、島田、藤原、松舘、

【コースタイム】岩舟支所 P8:00＝駒形登山口

P9:10/9:20～肩の広場 10:30～鳴神山 10:40/11:00

～仁田嶽 11:10～裏の肩 11:30/12:05～赤柴登山口

12:30～駒形登山口 P13:20＝岩舟支所 14:30



昨日、雪山トレーニング山行があり、比較的楽に登れる鳴神山を計画したが連荘は難しいのか、参加者は少ない。

鳴神山のコースはいくつかあるが、今回は駒形登山口から山頂に登り、裏の肩から赤柴登山口へ降りるコースとした。駒形登山口にはトイレが無いので、途中のコンビニで済ませて行く。



登山口の駐車スペースには、すでに車が数台止まっており、空いている場所に駐車する。

ストレッチを済ませ、出発する。林道をまっすぐ進むと、鳴神山自然探究路の案内板があり、ここからは沢沿いのコースを登るようになる。昨年の大雪で倒れた杉の木も片付けられ、歩き易くなっていた。途中、倒木で作ったベンチがある休憩所で休憩し、リンゴをいただく。

芽吹いたばかりの木々に癒されながら、沢沿いの急登を軽快に登って行く。

いつになく早いペースに汗だくになり、ペースが

速いと弱音をはく。やっと鞍部の肩の広場に登り上げ、休憩をとって水分を補給する。

肩の広場には、雷神岳神社が祀られており、立派な神社と鳥居がある。肩の広場からは、数分急坂を登ると山頂に出るが、今日は右に巻いて登り裏側から山頂に立つ。山頂にはいくつかの石祠があり、360度の展望が広がる。東から南には関東平野から筑波山、奥秩父の山々、北から西には日光連山から足尾山塊や上毛三山が望める。

手作りのベンチが置かれており、眺望を楽しみながらコーヒーをいただく。アカヤシオの時季には、山頂はピンクに彩られるがまだ固いつぼみであった。自然保護観察員の方がおり、カッコウソウやナルガミスミレなど、鳴神山固有の貴重な植物の分布状況や保護活動の説明を受け、パンフレットをいただいた。



山頂から急な岩場を下り、仁田山岳を經由して裏の肩へむかう。



痩せた急な尾根を下ると鞍部の裏の肩に出る。裏の肩は十字路になっており、直進すると座間峠、右に降りるとコツナギ橋から木品登山口へ、左に降りると赤柴登山口経由で駒形登山口へ行く。風を避けて、少し降りたところでランチタイムとする。今日のランチは焼きそばとおにぎりに卵焼き。

野菜たっぷりの焼きそばは、おにぎりとも合いとても美味しい。

ここからは、クヌギやコナラの自然林を気持ちよく下るようになる。狭い涸れ沢を下るよう

になると、間もなく林道の赤柴登山口に出る。林道を直進するとT字路になり、左へ沢沿いに下ると釣り堀跡や住居跡、墓地を見ながら下ると駒形登山口に着く。

雪山を歩いた次ぐ日には丁度よい行程で、会話と眺望を楽しみながらの大満足の山行だった。